

国立市立小・中学校長・ PTA会長等連絡会報告

令和5年3月13日 第3号
国立市立小・中学校長会 会長
(国立市立国立第三小学校 校長)
TEL: 042-572-3197
FAX: 042-572-3198

令和5年2月27日(月)に、国立市役所において、第3回の会合を開催しました。立川警察署・国立市教育委員会から、国立市の小・中学生の安全確保の情報や健全育成の取組についての話を伺いました。また、各校の今年度の状況などの情報交換を行いました。

1 開会挨拶 国立市立小・中学校長会 会長

コロナ対応が新たな局面を迎えることになりつつあります。ここまで様々な制約がありながら、学校の教育活動を進めていくことができたのは、学校とPTA等各学校の組織が一体となって取り組んだからこそと感謝しています。コロナ対応の中で新たにできるようになったオンラインの活用などを今後の教育活動に生かしていくことが大切と考えています。

2 「国立市児童・生徒の生活安全上の課題と解決策について」 警視庁立川警察署 生活安全課少年第一係長

- ・非行、補導の例として新宿歌舞伎町の通称「東横」に関する事例の紹介。
自殺を仄めかす中学生の事案や保護者が手を尽くしてようやく発見した小学生の事案など
学校や家庭に居場所がない子どもが集まっていた。薬物接種による性被害の危険性がある。
- ・SNSやインターネットの利用に関する被害事例の紹介。
家庭や学校で繰り返し危険性について子供に知らせるとともに、ルールを守るように指導することが大切。
相談窓口や情報モラルについて学べる警視庁のサイトなどの紹介

3 「児童・生徒の安全確保と健全育成について」 国立市教育委員会 教育指導支援課長

- ・令和5年度の国立市教育委員会の主な事業計画の概要について
- ①「人権尊重教育」推進事業 本年度は「命の教育」として実施したものを継承。これに関連して今後「国立市子ども基本条例」が策定される予定。
- ②「魅力ある学校づくり」推進事業 QU調査を継続。調査結果を学校作り学級作りに活かしていく。
- ③フルインクルーシブ教育推進事業 フルインクルーシブ教育には立場の違いによる捉え方があるため、国立市としての定義付けに向けて取り組んでいく。
- ④特別支援教育推進事業 来年度、六小に情緒固定を開設、ニ小を新たな拠点校とする。きめ細かな対応が可能。
- ⑤保護者・地域・関係機関との連携事業 コミュニティスクールに向けた準備や国立市総合教育センターの開設準備を進める。

4 意見交換・情報交換【各学校から】

[学校の様子・PTAの様子]

- 通学路安全点検の実施。コロナに対応した学校行事の実施とPTAの協力。
- 役員数を減らすなどのPTA活動のスリム化。
- コロナの影響もあって親同士のコミュニケーションが図りづらくなった。それを補うイベントを開催した。
- PTAだよりをペーパーレス化する取組。
- 六小に新たな特別支援固定学級が開級する。校歌の歌詞に因んで「フレンド学級」と命名した。
- 開校50周年行事では、PTAの特設委員会が学校と共に対応した。
- PTA活動の適切化のため広報誌の作成を今年度限りとする。

[健全育成に関する事項]

- 集団登校のため通学路が固定されていたが、通学路を拡大して登下校の安全を確保した。
- 見守り活動を推進していくために「ながら見守り」をすすめている。
- 人身事故による南武線の踏切が長時間開かない事態となった。長時間踏切が開かない際の対応を想定する必要がある。
- スーパーマーケットのフリーWifiを利用するため放課後に生徒が集まっている。情報モラルの徹底をすすめる。
- 子ども基本条例策定に関連して生徒会が取材を受けNHKの番組で放映される。

5 閉会挨拶

この1年間、学校や各校PTAの取組について情報交換ができて大変有意義でした。また、12月に行った矢川プラスの見学会など、健全育成についてもとても勉強になりました。今後もこの会を継続して、国立市の健全育成を進めていくことが大切であると考えます。